

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104080	特別支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		64,925	66,281		1,356
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	57,700		57,700
	一般財源	64,925	8,581		-56,344

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

特別支援体制を充実する

事業開始の背景・経緯

学校では対応しきれない不登校や問題を抱える幼児児童生徒及び発達障害のある幼児児童生徒への対応を支援し、すべての幼児児童生徒が生き生きとした学校生活を送れるよう、この事業を開始した。

事業概要

ふれあい共育推進
 特別な支援が必要な児童生徒に対し支援を行うふれあい共育推進員を配置
 特別支援体制の推進
 障がいのある児童生徒への教育支援体制の推進
 学校適応支援
 問題を抱える児童生徒及び保護者への教育相談や、特別な支援が必要な児童生徒に関する巡回指導等のため、教育相談員、スクールソーシャルワーカー及び生徒支援員を配置
 ことばの教室巡回指導
 「ことばの教室」での指導を必要とする児童に対する巡回指導のため、ことばの教室巡回指導員を配置

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	佐々木 健一
------	---------------------	------	--------

意見・要望等の状況

特別な支援が必要な児童生徒の増加及び不登校傾向にある児童生徒の抱える悩みの複雑化などから、この事業の継続・発展要望が学校等から多く出されている。

事業手法の詳細1

- ふれあい共育推進 34,275千円
 特別な支援が必要な児童生徒に対し支援を行うふれあい共育推進員を配置（小学校18校・中学校11校へ47人配置）
- 特別支援体制の推進 2,105千円
 障がいのある児童生徒への教育支援体制の推進
- 学校適応支援 20,197千円
 ・問題を抱える児童生徒及び保護者への教育相談や、特別な支援が必要な児童生徒に関する巡回指導等のため、教育相談員（5人）、スクールソーシャルワーカー（2人）及び生徒支援員（5人）を配置
 ・適応指導教室「風の子ひろば」の運営、適応教室外活動業務委託
- ことばの教室巡回指導 9,704千円
 「ことばの教室」での指導を必要とする児童に対する巡回指導のため、ことばの教室巡回指導員（4人）を配置